

Sustainable Report No.050

「マイ傘袋」を 日常的な存在へ

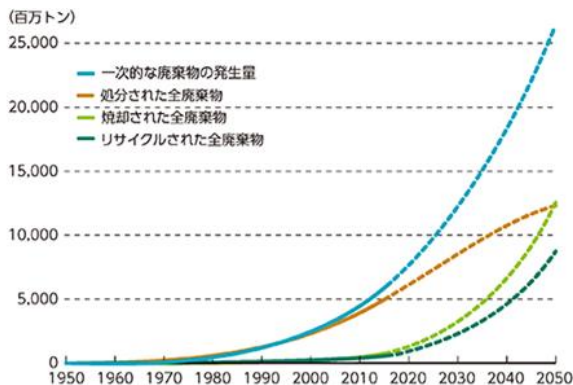


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 課題の現状／経緯／影響

- プラスチックの消費は過去30年間で4倍、**廃棄は20年で2倍以上に増加**した（2022年2月OECD報告値）。源枯渇や処分時に排出される温室効果ガスが懸念される。
- **安価で便利なプラスチック製品を店頭で無償提供**する場面は多く、衛生面や利便性を重視するサービス設計として消費者に受け入れられてきた。
- 受け取る側は得した気分になったり、無償がゆえに捨てる事への抵抗がなくなったり、**資源消費に無関心な姿勢**が一定数に根付いてしまっているのではないかと懸念されている。

■ プラスチック廃棄物発生量の推計



出典：環境省

■ 無償提供されるプラスチックカトラリー



出典：写真AC

▶ NEXT : リサイクルされない使い捨て傘袋に学生アイデア

■ 実行者／解決方法／残る課題

- 金城学院大学の学生たちが、**ICタグ付き「マイ傘袋」**を企画。ICタグ付きエコバッグを開発した株式会社MILKBOTTLE SHAKERS（大阪市）が商品化に協力。
- 協賛企業の建物入口等に端末を設置。利用者が傘袋のタグをかざすとポイントが付与され、**環境保護団体等に寄付**される。
- 協賛企業の数进行かに増やし、集団主義の利用者にも身近になってキャッシュレス決済のように生活に馴染むまで継続できるか。

■ U-Bag ～環境問題改善のためにビニール傘袋を減らしたい！～



KINJO GAKUIN UNIVERSITY


Bag

ビニール傘袋 削減プロジェクト

雨の日を
ちょっといい日に!!

by KINJO GAKUIN UNIVERSITY
DEPARTMENT OF COMMUNITY WELFARE
SOCIAL WOMAN PROJECT D

■ 学生モニターの声



普段何気なく使用していたビニール傘袋ですが、今回の取り組みを知ってゴミ箱に傘袋が大量に捨てられていた光景が思い浮かびました。

マイ箸やマイボトルがあるように"マイ傘袋"がもっともっと広まればゴミを削減することができる。とてもいい発想だと思いました！応援しています！！

A.Mさん

出典：左右ともに、クラウドファンディングプラットフォーム「GoodMorning」

▶NEXT：誰でも無意識に環境配慮できる仕組みづくりへ

■ 弊害の要因／理想／企業施策

- 起業には、新しい取組みに対して、同様の成功例がないと予算に見合う定量的な効果を信用できず、**導入を見送る保守的な考え方**があるのではないか。
- 成功体験が重なって**環境に配慮された施策が当たり前**になり、企業がメーカーなどから営業を受けるだけでなく、自ら積極的に消耗品を見直すことが理想。
- 環境配慮だけをアピールする偏った文言や装飾ではなく、そのものの性能も評価されるような**シンプル**な構造、**恥ずかしくないデザイン**を意識したものづくりと商品PRに期待される。

■ 既に暮らしに根付いた環境配慮型商品の例（マイバッグ／紙ストロー）



出典：イラストAC



出典：スターバックスジャパン

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 経緯

- 元々、公共施設等の入口には鍵付きの傘立てや、施設利用時に持ち運ぶための繰り返し使える傘袋が設置されていた。
- それらの継続には、傘の忘れ物、鍵を紛失、盗難や取り違え、収納数の制限による管理の課題があったのではないかと。
- プラスチックの使い捨て問題への対応として、原点回帰した自治体もある。

■ 公共施設の繰り返し使える傘カバーの写真とインタビュー



- ① いつ頃から繰り返し使える傘袋を使用していますか？
→ 昭和59年ころからになります。
- ② 製品寿命はどれほどですか？（感覚値で構いません）
→ おそらく制作側の想定としては2～3年ではないかと思いますが、修理しながら5年以上、10年近く使用しているものもあります。
- ③ 運用上、使い捨て傘袋と比べて良い点はありますか？
→ 繰り返し使用できる点、ごみが出ない点などです。
- ④ 運用上、使い捨て傘袋と比べて困る点はありますか？
→ 利用の多い土日などは、入館者数に対して数が不足することがあります。

画像提供および回答：教育委員会事務局名古屋市鶴舞中央図書館

■ 参照・引用資料

- 環境省, 「令和2年版 環境白書」内「第3節 海洋プラスチックごみ汚染・生物多様性の損失」, 2022年8月23日参照
(<https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/r02/html/hj20010103.html>)
- 株式会社CAMPFIRE, 「GoodMorning」内「U-Bag ~環境問題改善のためにビニール傘袋を減らしたい! ~」, 2022年1月28日
(<https://camp-fire.jp/projects/514838/backers>)
- スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社, 「スターバックス国内店舗で、サステナブルな未来につながるFSC® 認証紙ストローでの提供を開始」, 2019年11月26日
(https://www.starbucks.co.jp/press_release/pr2020-3248.php)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社小川電機に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。